

四 半 期 報 告 書

(第31期第3四半期)

自 平成21年10月1日

至 平成21年12月31日

株式会社メガネ[®]トリー

(E03282)

四 半 期 報 告 書

- 1 本書は四半期報告書を金融商品取引法第27条の30の2に規定する開示用電子情報処理組織(EDINET)を使用し提出したデータに目次及び頁を付して出力・印刷したものであります。
- 2 本書には、上記の方法により提出した四半期報告書に添付された四半期レビュー報告書及び上記の四半期報告書と同時に提出した確認書を末尾に綴じ込んでおります。

目 次

	頁
【表紙】	1
第一部 【企業情報】	2
第1 【企業の概況】	2
1 【主要な経営指標等の推移】	2
2 【事業の内容】	3
3 【関係会社の状況】	3
4 【従業員の状況】	3
第2 【事業の状況】	4
1 【生産、受注及び販売の状況】	4
2 【事業等のリスク】	5
3 【経営上の重要な契約等】	5
4 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】	5
第3 【設備の状況】	7
第4 【提出会社の状況】	8
1 【株式等の状況】	8
2 【株価の推移】	10
3 【役員の状況】	11
第5 【経理の状況】	12
1 【四半期連結財務諸表】	13
2 【その他】	30
第二部 【提出会社の保証会社等の情報】	31

四半期レビュー報告書

確認書

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 東海財務局長

【提出日】 平成22年2月12日

【四半期会計期間】 第31期第3四半期
(自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)

【会社名】 株式会社メガネトップ

【英訳名】 MEGANE TOP CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 富 澤 昌 宏

【本店の所在の場所】 静岡県静岡市葵区伝馬町8番地の6

【電話番号】 (054)275-5000

【事務連絡者氏名】 取締役経営統括本部長 寺 澤 章

【最寄りの連絡場所】 静岡県静岡市葵区伝馬町8番地の6

【電話番号】 (054)275-5000

【事務連絡者氏名】 取締役経営統括本部長 寺 澤 章

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

連結経営指標等

回次	第30期 第3四半期 連結累計期間	第31期 第3四半期 連結累計期間	第30期 第3四半期 連結会計期間	第31期 第3四半期 連結会計期間	第30期
会計期間	自 平成20年 4月1日 至 平成20年 12月31日	自 平成21年 4月1日 至 平成21年 12月31日	自 平成20年 10月1日 至 平成20年 12月31日	自 平成21年 10月1日 至 平成21年 12月31日	自 平成20年 4月1日 至 平成21年 3月31日
売上高 (千円)	34,457,832	37,632,310	11,752,915	12,456,844	46,607,574
経常利益 (千円)	3,571,818	3,820,740	1,479,745	980,017	5,407,077
四半期(当期)純利益 (千円)	1,907,925	1,660,073	843,822	506,806	2,899,018
純資産額 (千円)	—	—	10,940,653	13,248,936	11,927,709
総資産額 (千円)	—	—	27,498,111	29,523,208	27,676,995
1株当たり純資産額 (円)	—	—	469.68	437.64	512.08
1株当たり四半期 (当期)純利益 (円)	82.03	54.84	36.22	16.74	124.60
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益 (円)	81.94	54.83	36.22	16.74	124.49
自己資本比率 (%)	—	—	39.8	44.9	43.1
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	2,652,217	2,079,556	—	—	5,623,501
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	△709,187	△2,144,943	—	—	△746,345
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	△1,538,408	425,563	—	—	△3,753,456
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	—	—	1,723,977	2,802,952	2,445,593
従業員数 (名)	—	—	1,510	1,602	1,490

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営んでいる事業内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社に異動はありません。

平成22年1月26日開催の取締役会において、平成22年4月1日を効力発生日として、当社100%出資の連結子会社である株式会社フィットミーを吸収合併することが決議されております。

なお、本合併が連結財務諸表に与える影響はありません。

3 【関係会社の状況】

当第3四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

4 【従業員の状況】

(1) 連結会社の状況

平成21年12月31日現在

従業員数(名)	1,602 (1,662)
---------	---------------

- (注) 1 従業員数は就業人員であります。
2 従業員数欄の(外書)は、臨時従業員の当第3四半期連結会計期間の平均雇用人員(1日8時間換算)であります。

(2) 提出会社の状況

平成21年12月31日現在

従業員数(名)	1,581 (1,630)
---------	---------------

- (注) 1 従業員数は就業人員であります。
2 従業員数欄の(外書)は、臨時従業員の当第3四半期会計期間の平均雇用人員(1日8時間換算)であります。

第2 【事業の状況】

1 【生産、受注及び販売の状況】

(1) 生産実績

当第3四半期連結会計期間における生産実績は、次のとおりであります。

品目別	金額(千円)	前年同四半期比(%)
フレーム	170,661	99.6
合計	170,661	99.6

(注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 上記の金額は、製造原価によっております。

(2) 仕入実績

当第3四半期連結会計期間における仕入実績は、次のとおりであります。

品目別	金額(千円)	前年同四半期比(%)
フレーム	1,067,809	82.2
レンズ	1,194,368	108.8
コンタクトレンズ	1,202,934	107.2
コンタクト備品	23,586	83.5
その他	321,386	125.5
合計	3,810,085	100.2

(注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 その他には、光学機器、補聴器等が含まれております。

(3) 受注実績

当社グループは、主に見込み生産を行っているため、記載を省略しております。

(4) 販売実績

当第3四半期連結会計期間における販売実績は、次のとおりであります。

品目別	金額(千円)	前年同四半期比(%)
フレーム	5,453,917	110.1
レンズ	4,302,055	100.4
コンタクトレンズ	1,888,432	101.7
コンタクト備品	114,785	96.6
その他	697,652	129.0
合計	12,456,844	106.0

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
2 その他には、光学機器、補聴器等が含まれております。

2 【事業等のリスク】

当第3四半期連結会計期間において、財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の異常な変動等又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在しておりません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

4 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、本四半期報告書提出日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第3四半期連結会計期間のわが国経済は、輸出、生産などは持ち直しているものの、企業収益は大幅な減少が続いており、デフレの動向もみられるなど、景気は厳しい状況にあります。個人消費につきましては、一部に持ち直しの動きがみられるものの、雇用・所得環境が厳しいことなどから弱い動きとなっております。眼鏡業界におきましても、市場全体が縮小傾向にあるなか企業間の価格競争が激化しており、依然として厳しい状況が続いております。

このような環境のなか、当社グループは主力業態であるオールインワンプライスショップ「眼鏡市場」の店舗網拡充による顧客利便性の向上を図り、商品・人材の質の向上による顧客満足度の向上に努め、企業力の強化を図ってまいりました。また消費者の低価格志向が強まるなか、11月からフレームと単焦点レンズの組み合わせを新たな価格15,750円で提供する「メガ割」をスタートさせ、「眼鏡市場」の集客力の強化と差別化に努めてまいりました。

店舗展開につきましては、直営「眼鏡市場」による22店舗とF C「眼鏡市場」による9店舗の新規出店を行った結果、当第3四半期連結会計期間末における店舗数は直営551店舗、F C 98店舗の合計649店舗となりました。

この結果、売上高は12,456百万円（前年同四半期比6.0%増）となりました。

利益面につきましては、前年同期と比較し、売上総利益率が1.2ポイント低下し、売上高販売管理費比率は「メガ割」企画のTVCM等販売促進に関する費用を予算時期に対し前倒し計上したことや人件費などが増加したことから、60.5%と5.2ポイント上昇しました。この結果、営業利益875百万円（前年同四半期比44.8%減）、経常利益980百万円（前年同四半期比33.8%減）、四半期純利益506百万円（前年同四半期比39.9%減）となりました。

(2) 財政状態の分析

①流動資産

流動資産の残高は9,825百万円（前四半期連結会計期間末は8,615百万円）で、1,209百万円の増加となっております。現金及び預金の増加（1,017百万円）、受取手形及び売掛金の増加（310百万円）が主な要因であります。

②固定資産

固定資産の残高は19,697百万円（前四半期連結会計期間末は19,308百万円）で、389百万円の増加となっております。建物及び構築物の増加（147百万円）が主な要因であります。

③流動負債

流動負債の残高は11,990百万円（前四半期連結会計期間末は10,404百万円）で、1,585百万円の増加となっております。支払手形及び買掛金の増加（347百万円）、短期借入金の増加（1,518百万円）並びに未払法人税等の減少（1,047百万円）が主な要因であります。

④固定負債

固定負債の残高は4,283百万円（前四半期連結会計期間末は4,591百万円）で、308百万円の減少となっております。長期借入金の減少（293百万円）が主な要因であります。

⑤純資産

純資産の残高は13,248百万円（前四半期連結会計期間末は12,927百万円）で、321百万円の増加となっております。利益剰余金の増加（325百万円）が主な要因であります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ357百万円増加し、2,802百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は438百万円（前年同四半期比61.6%減）となり、主な内容は税金等調整前四半期純利益936百万円、仕入債務の増加額347百万円及び法人税等の支払額1,282百万円などによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は558百万円（前年同四半期比234.7%増）となり、主な内容は有形固定資産の取得による支出393百万円、敷金及び保証金の差入による支出217百万円などによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は1,136百万円（前年同四半期は135百万円の使用）となり、主な内容は短期借入金の純増加額1,833百万円及び長期借入金の返済による支出608百万円などによるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結会計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

第3 【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第3四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

前四半期連結会計期間末に計画していた設備計画のうち、当第3四半期連結会計期間に完了したものは、次のとおりであります。

提出会社

完了年月	事業所名	所在地	増加能力 (延床面積 m ²)	金額(千円)
平成21年10月	眼鏡市場 八千代店	千葉県八千代市	132.48	38,440
平成21年10月	眼鏡市場 成田公津の杜店	千葉県成田市	132.48	41,302
平成21年10月	眼鏡市場 竜ヶ崎店	茨城県龍ヶ崎市	185.25	39,266
平成21年10月	眼鏡市場 四街道店	千葉県四街道市	158.40	57,072
平成21年10月	眼鏡市場 川崎生田店	神奈川県川崎市多摩区	152.40	59,697
平成21年10月	眼鏡市場 京都上桂店	京都府京都市西京区	132.48	36,263
平成21年10月	眼鏡市場 茅ヶ崎高田店	神奈川県茅ヶ崎市	159.86	40,884
平成21年11月	眼鏡市場 京都太秦店	京都府京都市右京区	137.20	34,745
平成21年11月	眼鏡市場 北伊丹店	兵庫県伊丹市	158.25	47,843
平成21年11月	眼鏡市場 松原店	大阪府松原市	158.25	47,597
平成21年11月	眼鏡市場 堺北花田店	大阪府堺市北区	404.22	34,420
平成21年11月	眼鏡市場 堺百舌鳥店	大阪府堺市北区	130.87	44,896
平成21年11月	眼鏡市場 練馬谷原店	東京都練馬区	132.48	48,413
平成21年11月	眼鏡市場 鎌倉手広店	神奈川県鎌倉市	158.60	64,922
平成21年11月	眼鏡市場 美浜ニューポートリゾート店	千葉県千葉市美浜区	299.00	35,382
平成21年12月	眼鏡市場 ゆめシティ下関店	山口県下関市	132.43	25,662
平成21年12月	眼鏡市場 八王子榎原店	東京都八王子市	137.28	39,369
平成21年12月	眼鏡市場 津島店	愛知県津島市	159.86	68,742
平成21年12月	眼鏡市場 寝屋川店	大阪府寝屋川市	159.86	50,778
平成21年12月	眼鏡市場 熊本光の森店	熊本県菊池郡	158.25	56,599
平成21年12月	眼鏡市場 明石大久保店	兵庫県明石市	159.86	38,212
平成21年12月	眼鏡市場 町田本店	東京都町田市	135.83	44,552
—	計		—	995,056

(注) 1 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

2 上記の金額は取得原価を表示しております。

第4 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

① 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	52,416,000
計	52,416,000

② 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成21年12月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成22年2月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	30,328,318	30,328,318	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数は100株であり ます。
計	30,328,318	30,328,318	—	—

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成21年10月1日～ 平成21年12月31日 (注)	3,120	30,328,318	546	2,336,771	546	2,667,521

(注) 新株予約権の行使によるものであります。

(5) 【大株主の状況】

当第3四半期会計期間において、株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループから平成21年11月30日付の大量保有報告書の変更報告書の写しの送付があり、平成21年11月23日現在で以下の株式を所有している旨の報告を受けましたが、当社として当第3四半期会計期間末現在における実質所有株式数の確認ができておりません。

なお、その大量保有報告書の変更報告書の内容は、次のとおりであります。

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に対する 所有株式数の割合 (%)
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内二丁目7番 1号	808	2.67
三菱UFJ信託銀行株式会社	東京都千代田区丸の内一丁目4番 5号	523	1.73
三菱UFJ投信株式会社	東京都千代田区丸の内一丁目4番 5号	39	0.13
三菱UFJアセット・マネジ メント(UK)	12-15Finsbury Circus, London, EC2M 7BT, United Kingdom	64	0.21

当第3四半期会計期間において、富澤昌三氏から平成21年12月8日付の大量保有報告書の変更報告書の写しの送付があり、平成21年12月4日現在で以下の株式を所有している旨の報告を受けましたが、当社として当第3四半期会計期間末現在における実質所有株式数の確認ができておりません。

なお、その大量保有報告書の変更報告書の内容は、次のとおりであります。

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に対する 所有株式数の割合 (%)
富澤 昌三	静岡県静岡市駿河区	5,432	17.91

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の議決権の状況については、株主名簿の記載内容が確認できず、記載することができませんので、直前の基準日である平成21年9月30日の株主名簿により記載しております。

① 【発行済株式】

平成21年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 53,600	—	—
完全議決権株式(その他)	普通株式 30,019,800	300,198	—
単元未満株式	普通株式 251,798	—	一単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	30,325,198	—	—
総株主の議決権	—	300,198	—

(注) 1 「単元未満株式」には当社所有の自己株式63株が含まれております。
2 証券保管振替機構名義の株式が、「完全議決権株式(その他)」の欄に2,200株(議決権の数22個)、「単元未満株式」の欄に98株それぞれ含まれております。

② 【自己株式等】

平成21年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社メガネトップ	静岡県静岡市葵区伝馬町 8番地の6	53,600	—	53,600	0.18
計	—	53,600	—	53,600	0.18

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成21年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
最高(円)	1,094	1,374	1,540	1,610	1,525	1,800	1,715	1,550	1,064
最低(円)	903	939	1,325	1,372	1,400	1,498	1,450	978	899

(注) 最高・最低株価は、東京証券取引所市場第一部におけるものであります。

3 【役員 の 状 況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期報告書提出日までの役員 の 異 動 は、次 の と お り で あ り ます。

役職 の 異 動

新役名及び職名	旧役名及び職名	氏名	異動年月日
代表取締役社長 コンプライアンス担当	代表取締役社長	富澤 昌宏	平成21年7月15日
専務取締役 営業本部長	専務取締役 コンプライアンス担当	高柳 正雄	平成21年7月15日
取締役 F C 事業本部長	取締役 営業本部長	野方 学	平成21年7月15日
代表取締役社長	代表取締役社長 コンプライアンス担当	富澤 昌宏	平成21年11月1日
専務取締役 コンプライアンス担当	専務取締役 営業本部長	高柳 正雄	平成21年11月1日
取締役 営業本部長	取締役 F C 事業本部長	野方 学	平成21年11月1日

第5 【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しております。

なお、前第3四半期連結会計期間(平成20年10月1日から平成20年12月31日まで)及び前第3四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年12月31日まで)は、改正前の四半期連結財務諸表規則に基づき、当第3四半期連結会計期間(平成21年10月1日から平成21年12月31日まで)及び当第3四半期連結累計期間(平成21年4月1日から平成21年12月31日まで)は、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第3四半期連結会計期間(平成20年10月1日から平成20年12月31日まで)及び前第3四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表については、監査法人トーマツにより四半期レビューを受け、当第3四半期連結会計期間(平成21年10月1日から平成21年12月31日まで)及び当第3四半期連結累計期間(平成21年4月1日から平成21年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,803,952	2,446,593
受取手形及び売掛金	※3 1,277,978	970,248
商品及び製品	4,185,383	3,893,872
仕掛品	103,684	87,913
原材料及び貯蔵品	54,574	64,091
その他	1,403,783	1,496,846
貸倒引当金	△3,635	△2,120
流動資産合計	9,825,720	8,957,445
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,567,975	7,356,021
その他（純額）	3,311,692	3,131,987
有形固定資産合計	※1 10,879,667	※1 10,488,009
無形固定資産		
のれん	26,350	80,016
その他	285,443	405,934
無形固定資産合計	311,794	485,951
投資その他の資産		
敷金及び保証金	7,562,077	6,948,234
その他	952,733	806,039
貸倒引当金	△8,783	△8,683
投資その他の資産合計	8,506,026	7,745,589
固定資産合計	19,697,488	18,719,550
資産合計	29,523,208	27,676,995

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,588,807	1,163,390
短期借入金	5,377,153	3,415,067
未払法人税等	162,131	1,976,204
賞与引当金	359,177	663,220
役員賞与引当金	27,000	27,600
その他	4,476,622	3,164,640
流動負債合計	11,990,891	10,410,122
固定負債		
社債	482,500	750,000
長期借入金	2,528,952	3,538,920
役員退職慰労引当金	335,373	305,176
その他	936,555	745,068
固定負債合計	4,283,380	5,339,164
負債合計	16,274,272	15,749,286
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,336,771	2,335,679
資本剰余金	2,769,460	2,768,368
利益剰余金	8,182,369	6,843,681
自己株式	△40,072	△23,729
株主資本合計	13,248,527	11,923,999
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	408	3,709
評価・換算差額等合計	408	3,709
純資産合計	13,248,936	11,927,709
負債純資産合計	29,523,208	27,676,995

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	34,457,832	37,632,310
売上原価	11,042,237	11,856,403
売上総利益	23,415,594	25,775,906
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	6,739,426	7,456,516
貸倒引当金繰入額	7,185	1,549
賞与引当金繰入額	262,843	353,700
役員賞与引当金繰入額	18,000	27,000
役員退職慰労引当金繰入額	31,240	33,401
その他	12,743,327	14,114,965
販売費及び一般管理費合計	19,802,023	21,987,133
営業利益	3,613,571	3,788,773
営業外収益		
受取利息	25,892	27,237
受取配当金	1,168	955
受取賃貸料	290,871	310,033
その他	54,510	95,517
営業外収益合計	372,442	433,743
営業外費用		
支払利息	129,932	97,384
賃貸収入原価	184,399	201,974
その他	99,863	102,417
営業外費用合計	414,195	401,776
経常利益	3,571,818	3,820,740
特別利益		
固定資産売却益	5,078	4,098
受取補償金	114,121	—
特別利益合計	119,199	4,098
特別損失		
固定資産売却損	414	—
固定資産除却損	50,472	24,445
減損損失	60,260	537,162
たな卸資産評価損	92,635	—
その他	34,741	26,837
特別損失合計	238,523	588,445
税金等調整前四半期純利益	3,452,494	3,236,393
法人税、住民税及び事業税	1,420,902	1,368,047
法人税等調整額	123,667	208,272
法人税等合計	1,544,569	1,576,320
四半期純利益	1,907,925	1,660,073

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
売上高	11,752,915	12,456,844
売上原価	3,669,316	4,038,595
売上総利益	8,083,598	8,418,249
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	2,229,956	2,522,498
貸倒引当金繰入額	—	1,308
賞与引当金繰入額	262,843	353,700
役員賞与引当金繰入額	6,000	9,000
役員退職慰労引当金繰入額	9,104	12,281
賃借料	1,305,727	1,359,474
その他	2,683,446	3,284,194
販売費及び一般管理費合計	6,497,078	7,542,459
営業利益	1,586,520	875,790
営業外収益		
受取利息	8,538	9,828
受取配当金	573	508
受取賃貸料	98,371	105,557
その他	17,724	91,255
営業外収益合計	125,208	207,149
営業外費用		
支払利息	39,886	29,705
賃貸収入原価	58,366	69,266
為替差損	128,565	—
その他	5,165	3,949
営業外費用合計	231,983	102,922
経常利益	1,479,745	980,017
特別利益		
固定資産売却益	4,605	—
貸倒引当金戻入額	2,187	—
特別利益合計	6,793	—
特別損失		
固定資産売却損	414	—
固定資産除却損	6,951	16,788
固定資産臨時償却費	10,906	26,837
特別損失合計	18,271	43,625
税金等調整前四半期純利益	1,468,267	936,391
法人税、住民税及び事業税	500,935	208,638
法人税等調整額	123,509	220,946
法人税等合計	624,445	429,584
四半期純利益	843,822	506,806

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,452,494	3,236,393
減価償却費	895,570	929,004
たな卸資産評価損	92,635	—
減損損失	60,260	537,162
固定資産臨時償却費	34,741	26,837
のれん償却額	53,665	53,665
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	8,385	1,615
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△229,064	△304,042
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△6,000	△600
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	24,627	30,196
受取利息及び受取配当金	△27,060	△28,193
支払利息	129,932	97,384
為替差損益 (△は益)	4,146	2,818
社債発行費	9,589	—
固定資産売却損益 (△は益)	△4,664	△4,098
固定資産除却損	50,472	24,445
売上債権の増減額 (△は増加)	△351,004	△307,730
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△960,951	△297,764
仕入債務の増減額 (△は減少)	421,566	425,417
未払消費税等の増減額 (△は減少)	88,753	△124,419
その他	376,961	1,032,600
小計	4,125,058	5,330,692
利息及び配当金の受取額	2,767	1,211
利息の支払額	△123,173	△95,354
法人税等の支払額	△1,352,435	△3,156,993
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,652,217	2,079,556
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,000	△1,000
定期預金の払戻による収入	23,000	1,000
有形固定資産の取得による支出	△789,053	△1,401,251
有形固定資産の売却による収入	15,049	7,247
投資有価証券の取得による支出	—	△7,500
貸付けによる支出	△800	—
貸付金の回収による収入	46,753	15,154
敷金及び保証金の差入による支出	△262,003	△947,213
敷金及び保証金の回収による収入	343,064	225,834
その他	△84,198	△37,214
投資活動によるキャッシュ・フロー	△709,187	△2,144,943

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	557,300	2,525,500
長期借入れによる収入	200,000	500,000
長期借入金の返済による支出	△2,328,985	△2,073,382
割賦債務の返済による支出	△84,525	—
社債の発行による収入	490,410	—
社債の償還による支出	△247,500	△297,500
ストックオプションの行使による収入	63,546	2,184
自己株式の増減額 (△は増加)	△9,588	△16,343
リース債務の返済による支出	—	△56,284
配当金の支払額	△179,066	△158,611
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,538,408	425,563
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,146	△2,818
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	400,474	357,358
現金及び現金同等物の期首残高	1,323,503	2,445,593
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 1,723,977	※ 2,802,952

【継続企業の前提に関する事項】

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

該当事項はありません。

【簡便な会計処理】

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理】

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
<p>※1 有形固定資産の減価償却累計額は、7,894,262千円であります。</p> <p>2 _____</p> <p>※3 当四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、当四半期連結会計期間末残高に含まれております。</p> <p>受取手形 16,292千円</p>	<p>※1 有形固定資産の減価償却累計額は、7,249,164千円であります。</p> <p>2 受取手形割引高は、69,067千円であります。</p> <p>3 _____</p>

(四半期連結損益計算書関係)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 現金及び預金 1,724,977千円 預入期間が3か月超の定期預金 <u>△1,000千円</u> 現金及び現金同等物 1,723,977千円	※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 現金及び預金 2,803,952千円 預入期間が3か月超の定期預金 <u>△1,000千円</u> 現金及び現金同等物 2,802,952千円

(株主資本等関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成21年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

1 発行済株式に関する事項

株式の種類	当第3四半期 連結会計期間末
普通株式(株)	30,328,318

2 自己株式に関する事項

株式の種類	当第3四半期 連結会計期間末
普通株式(株)	54,557

3 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成21年6月25日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	139,756	6	平成21年3月31日	平成21年6月26日
平成21年11月6日 取締役会	普通株式	利益剰余金	181,629	6	平成21年9月30日	平成21年12月8日

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)

当社グループの主たる事業は、眼鏡等の生産・販売であり、当該事業の売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

当第3四半期連結会計期間(自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)

当社グループは、各種眼鏡等を生産・販売する事業のみの単一セグメントであるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

当社グループの主たる事業は、眼鏡等の生産・販売であり、当該事業の売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

当社グループは、各種眼鏡等を生産・販売する事業のみの単一セグメントであるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)及び当第3四半期連結会計期間(自平成21年10月1日至平成21年12月31日)並びに前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)及び当第3四半期連結会計期間(自平成21年10月1日至平成21年12月31日)並びに前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(デリバティブ取引関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成21年12月31日)

対象物の種類が通貨であるデリバティブ取引が、事業の運営において重要なものとなっており、かつ、前連結会計年度の末日に比べて著しい変動が認められます。

デリバティブ取引の契約額等、時価及び評価損益

通貨関連

種類	契約額等 (千円)	時価 (千円)	評価損益 (千円)
クーポンスワップ取引 受取米ドル・支払円	6,879,100	△135,136	△135,136
為替予約取引 買建・米ドル	190,365	△23,503	△23,503
合計	7,069,465	△158,640	△158,640

(注) ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は除いております。

(1株当たり情報)

1 1株当たり純資産額

当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)		前連結会計年度末 (平成21年3月31日)	
1株当たり純資産額	437.64円	1株当たり純資産額	512.08円

(注) 1 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	当第3四半期 連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	13,248,936	11,927,709
普通株式に係る純資産額(千円)	13,248,936	11,927,709
普通株式の発行済株式数(株)	30,328,318	23,324,676
普通株式の自己株式数(株)	54,557	31,916
1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式 の数(株)	30,273,761	23,292,760

2 当社は、平成21年4月1日付で普通株式1株に対し1.3株の株式分割を行っております。前期首に当該株式分割が行われたと仮定した場合における前連結会計年度末の1株当たり純資産額は393.91円であります。

2 1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額

第3四半期連結累計期間

前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	
1株当たり四半期純利益金額	82.03円	1株当たり四半期純利益金額	54.84円
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	81.94円	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	54.83円

(注) 1 1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
四半期連結損益計算書上の四半期純利益(千円)	1,907,925	1,660,073
普通株式に係る四半期純利益(千円)	1,907,925	1,660,073
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式の期中平均株式数(株)	23,258,023	30,273,626
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に用いられた普通株式増加数の主要な内訳(株) 新株予約権	26,137	2,611
普通株式増加数(株)	26,137	2,611
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式について前連結会計年度末から重要な変動がある場合の概要	—	—

2 当社は、平成21年4月1日付で普通株式1株に対し1.3株の株式分割を行っております。前期首に当該株式分割が行われたと仮定した場合における前第3四半期連結累計期間の1株当たり四半期純利益金額は63.10円、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は63.03円であります。

第3四半期連結会計期間

前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)		当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	
1株当たり四半期純利益金額	36.22円	1株当たり四半期純利益金額	16.74円
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	36.22円	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	16.74円

(注) 1 1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
四半期連結損益計算書上の四半期純利益(千円)	843,822	506,806
普通株式に係る四半期純利益(千円)	843,822	506,806
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式の期中平均株式数(株)	23,294,060	30,273,028
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に用いられた普通株式増加数の主要な内訳(株) 新株予約権	2,038	872
普通株式増加数(株)	2,038	872
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式について前連結会計年度末から重要な変動がある場合の概要	—	—

- 2 当社は、平成21年4月1日付で普通株式1株に対し1.3株の株式分割を行っております。前期首に当該株式分割が行われたと仮定した場合における前第3四半期連結会計期間の1株当たり四半期純利益金額は27.87円、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は27.86円であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

第31期（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）中間配当については、平成21年11月6日開催の取締役会において、平成21年9月30日の最終の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議しました。

①配当の総額	181,629千円
②1株当たりの金額	6円
③支払請求権の効力発生日及び支払開始日	平成21年12月8日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年 2 月 2 日

株式会社メガネトップ

取締役会 御中

監査法人トーマツ

指定社員
業務執行社員 公認会計士 向 眞 生 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 谷 津 良 明 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社メガネトップの平成20年4月1日から平成21年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成20年10月1日から平成20年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社メガネトップ及び連結子会社の平成20年12月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成22年 2月 2日

株式会社メガネトップ

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士

向

眞 生

印

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士

谷

津 良 明

印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社メガネトップの平成21年4月1日から平成22年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成21年10月1日から平成21年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成21年4月1日から平成21年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社メガネトップ及び連結子会社の平成21年12月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

【表紙】

【提出書類】	確認書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の8第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	平成22年2月12日
【会社名】	株式会社メガネトップ
【英訳名】	MEGANE TOP CO., LTD
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 富澤昌宏
【最高財務責任者の役職氏名】	該当なし
【本店の所在の場所】	静岡県静岡市葵区伝馬町8番地の6
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社代表取締役社長富澤昌宏は、当社の第31期第3四半期(自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)の四半期報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認いたしました。

2 【特記事項】

確認に当たり、特記すべき事項はありません。

